



# 持続可能な木材供給に向けて

## 気にしていますか？ 次世代の森林育成コスト

林業・木材産業を持続的な産業とするためには、  
木材の売り手と買い手が、再造林を含む森林育成コストへの理解を深めた上で、価格が形成されることが重要です

### 林業の経営サイクル



お父さんは



しっかり間伐しておいたから  
あとは主伐して売るだけだよ

って言っていたけど

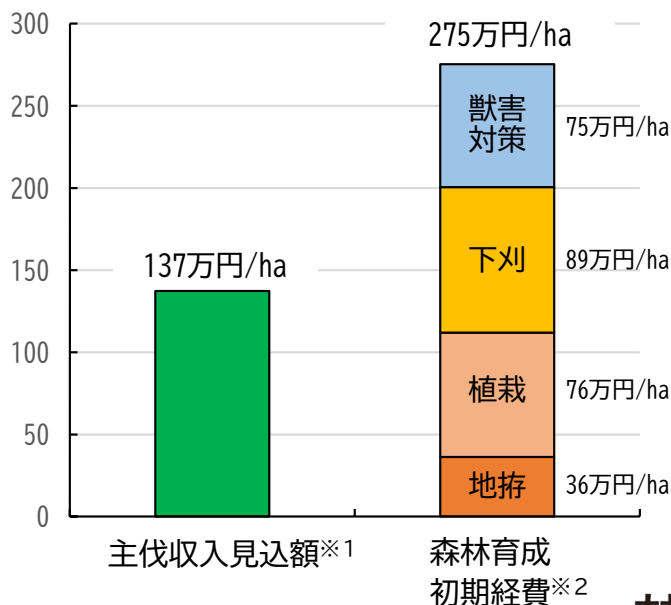
主伐したあとのことも考えないといけないよね  
これからは森林を育てていきたいけど、こんなに手間ひまかかるんだ  
おじいちゃんの頃より木材が安くなっているから、損するのはいやだなあ



森林所有者

### 林業経営のコスト試算

(万円/ha)



森林育成にはコストがかかるんだなあ  
森林所有者さんは次世代の森林を育成できるのかな？

※森林の多面的機能発揮の観点から、育成経費の一部に補助金が交付されます。

資料：令和5年度「森林・林業白書」をもとに作成

※1 (一財) 日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」を基に試算(素材出材量を315m<sup>3</sup>/haと仮定し、スギ山元立木価格4,361円/m<sup>3</sup>を乗じて算出)

※2 森林整備事業の令和5(2023)年度標準単価を用い、スギ3,000本/ha植栽、下刈り5回、獣害防護柵400mとして試算



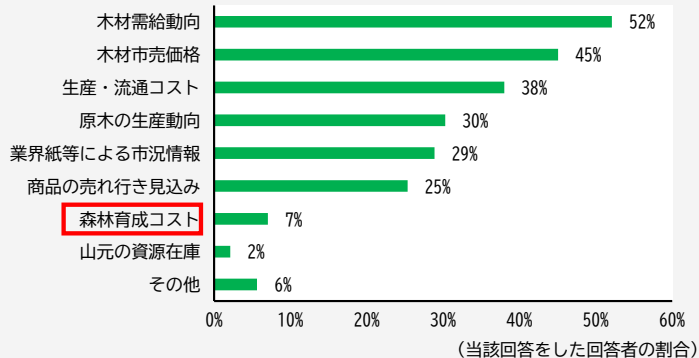
木材の需要者

## 木材取引の現状

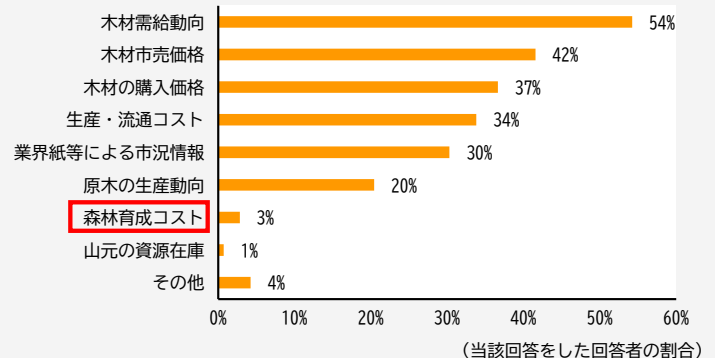
木材の購入時、販売時ともに、**森林の育成コスト**はあまり意識されていません。

### ■ 価格決定の際に参考とする情報

#### ① 木材の購入時



#### ② 木材の販売時



資料：R6年度「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」構成員へのアンケート調査結果を基に作成

## 持続的な木材供給に向けた取組

持続的な木材供給に向けては、**木材流通の各段階で適切な価格交渉が実施**されることが必要です。その他、**再生林の促進に向けた川中・川下事業者の参画による取組**や**川上事業者によるコスト削減に向けた取組**も進めていくことが必要です。

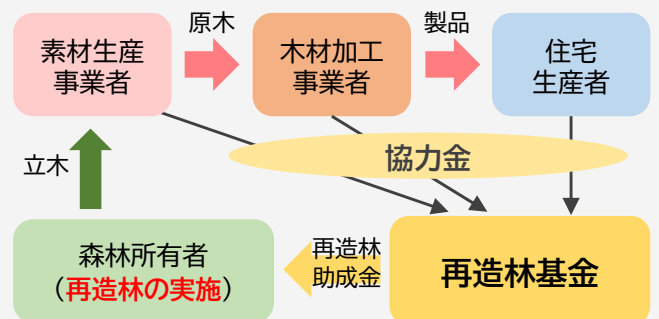
#### ① 適切な価格交渉の実施

(取組例) 優越的地位を利用した買いたたきの排除、適切な価格転嫁のための生産コスト（製品原価、運賃、労務費等）・業界動向の把握や交渉 等



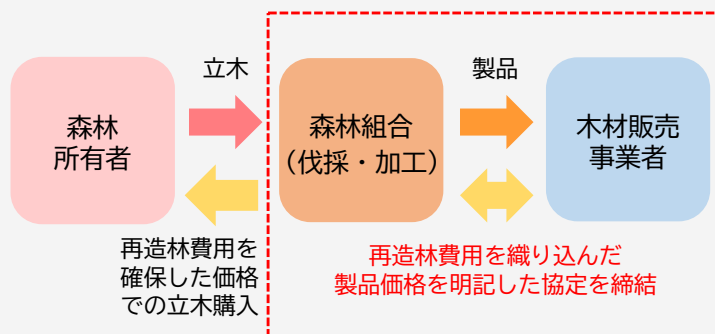
#### ② 再生林の促進に向けた基金の造成

(取組例) 川上から川下までの関係者による再生林基金の造成 等



#### ③ 再生林を確実に実施する取引の推進

(取組例) 再生林費用を織り込んだ製品価格による取引協定の締結 等



#### ④ 造林・保育・伐採コストの削減

(取組例) 植栽本数の削減や機械による下刈り、林業機械の遠隔操作化・自動化等によるコスト削減



機械による下刈り



遠隔操作による伐採

価格は基本的に需要と供給のバランスで決まるため、**需要動向の把握が重要**です。林野庁「モクレポ」では木材の需要動向を毎月掲載しています。

